

ろうさい ニュース

— 今月のトピックス —

今月より

腹臥位式マンモトーム
を導入しました。

腹臥位式は県内では、静岡がんセンターに次いで2台目の設置となり、がんセンターより新しい機種となっております。

浜松労災病院 地域医療連携 広報紙 第325号 平成23年9月号

■呼吸器外科の近況報告について

呼吸器外科部長 奥田 雅人

平成22年の新病院への移行に伴い、呼吸器外科を新たに標榜し、肺癌手術や気胸手術を中心とした専門性を持った治療を行っております。

現在、スタッフは2名（奥田雅人、三野暢哉）、京都大学呼吸器外科教室より派遣されており、ともに40歳代の中堅医師がタッグを組んで、手術にあたっております。残念ながら、若手医師は現在おりませんが、裏を返せば、胸腔鏡下の気胸手術から、すべてこの二人で手術しており、よりきめの細かい治療が可能になっていると自負しております。もちろん、多人数を要するような拡大手術も、いつでも大学や周辺の病院から応援いただける体制となっており、呼吸器外科分野に関しては、緻密な治療を可能としております。

現在、呼吸器外科分野では、20cm以上の皮膚切開を要した開胸手術から10cm弱の皮膚切開ですむ胸腔鏡下手術への移行が進んでおります。当院でも、数年前より導入されており、明らかに術後の痛みが少ないことを実感しております。ただし、そのために根治性を失ったり、合併症が増加すれば本末転倒ですから、個々の症例に対して、Evidence Based Medicineを意識しながらも、最適な治療を施行できるように努力しております。

二人の医師の特徴としましては、ともに数多くの関連病院を経験しており、最近多くみられる高齢者や合併症を持つ患者に対して、いたずらに手術をすすめるのではなく、患者の立場にたったの最善の治療を尽くすことを常に心がけております。これは、私たちが、常日頃から意識している自分あるいは自分の家族が受けたい治療を提供したいという理念に基づいております。

当地に赴任しまして、地域の先生方の医療レベルの高さに感心させられ、大いに勉強させていただいています。日々の診療の中で、肺腫瘍や縦隔腫瘍、気胸等が疑われる場合には是非とも当院にご紹介いただければ幸いです。可能な限り、誠意を尽くして、治療に当たりたいと考えています。



病院の理念 「仁愛」 ヒューマニズムとアカデミズム

■乳腺外科の近況報告について

乳腺外科部長 加賀野井 純一

当院乳腺外科は2010年4月に新設され2年目に入りました。乳腺を重要なホルモン反応性内分泌臓器としての観点から乳腺を診療の対象としており、加賀野井（月AM・金PM）と消化器外科部長の寺谷直樹先生（水PM）とともに週3日の乳腺外科外来を開いています。

疾患としては思春期早発症・乳腺炎・女性化乳房症・乳頭異常分泌症・良性腫瘍など良性疾患および悪性疾患（乳癌・肉腫など）を主に扱っています（図1・2は乳腺外科外来の外観です）。

新設以来、外来患者数を獲得するための乳癌検診数を増加させることに力を注いできました。お陰様で2010年度の乳癌検診数は前年の約2倍の800件を超えました。乳癌手術件数は年間30件前後とまだまだ不十分ですが、乳癌検診で発見した症例や当院と地域連携していただいている先生方からの御紹介も着実に増加しており、今後益々増加していく乳癌診療の一端を担うべく努力しております。

乳癌検診数が増えますと早期乳癌に遭遇する機会が増えます。特に非蝕知乳癌を疑うCategory3以上の乳房内石灰化病変の生検にはステレオガイド下マンモトームが必須です。

図1



図2

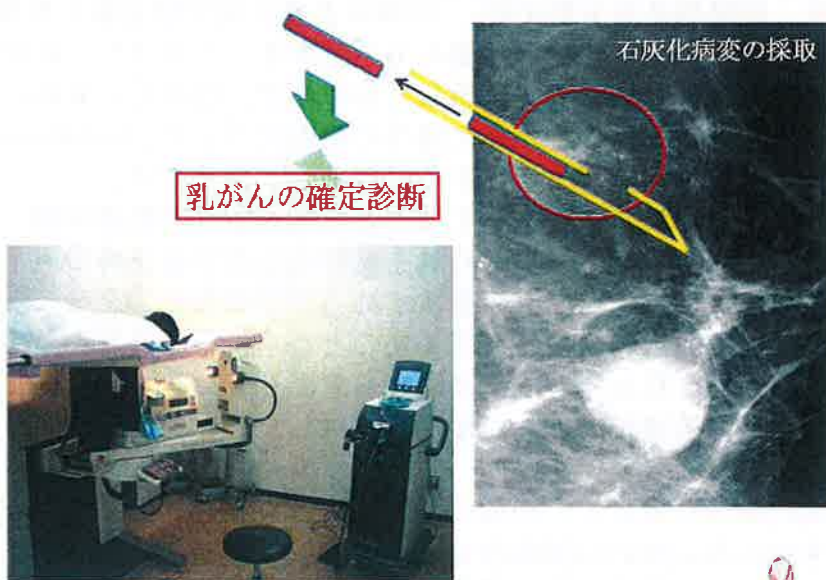


この度、当科にステレオガイド下マンモトームと超音波ガイド下マンモトームの2つの機器が導入されました。マンモトーム生検は、従来の針生検法と比較して非蝕知乳腺病変の標本採取には圧倒的に正確です。

また特にステレオガイド下マンモトームは静岡県下でも導入病院の少ないタイプの腹臥位型マンモトームです。このタイプのマンモトームは患者様が腹臥位になることで緊張を和らげ、また患者様が生検処置を目の当たりにすることがないため生検への恐怖感が和らぎリラックスして安全で確実な生検を受けていただけます（図3はステレオガイド下マンモトームです）。

マンモトームが導入されたことで乳腺疾患のすべてに対応することが可能になりました。これからも患者様の御紹介を宜しくお願いいたします。

図3



Hamamatsu Rousai Hospital 

■地域医療連携室より

連携室では、紹介患者さんの待ち時間短縮を図るため、紹介元の医療機関様の事前予約をお願いしております。恐縮ですが、当院所定の紹介状様式をご使用頂き、予約決定後、FAXにて当連携室宛てに送信頂きますようお願い申し上げます。また、紹介患者さんには、紹介患者専用受付窓口⑨番を訪ねていただくようご案内のほどお願い申し上げます。

TEL 053-411-0366 FAX 053-411-0315 担当 門本、鈴木

■ 第9回 浜松労災病院 地域医療連携講演会のご案内

開業医の先生方を対象に開催いたしますので、多数のご参加お待ちしております。

日 時 平成23年9月28日(水曜日) 19:30~20:30
 会 場 浜松労災病院 6階 大会議室
 演 題 「乳癌の最近の知見について」
 ~ 画像ガイド下マンモトーム生検を中心として ~
 講 師 加賀野井 純一 乳腺外科部長

※日本医師会生涯教育制度履修単位 1 単位

お問合せ先 地域医療連携室
 TEL 053(411)0366
 FAX 053(411)0315
 門本・鈴木

■ 第8回 浜松労災病院 地域医療連携講演会を開催

8月24日(水) 19:30から当院6階大会議室において、地域医療連携講演会を開催し、盛会のうちに終了いたしました。開業医の看護師さんにもご参加いただき注目の高さをうかがえました。

演 題 「肩が痛い!」 ~ 知って得する知識 ~
 講 師 松村 拓郎 勤労者脊椎・関節センター長

■ 各診療科より

- ・皮膚科は9月1日(木)休診になります。・総合内科は9月13日(火)~15日(木)休診になります。
- ・耳鼻科は9月29日(木)休診になります。・乳腺外科は9月12日(月)・16日(金)休診になります。

浜松労災病院案内図



- 遠鉄バスをご利用される場合
 浜松駅バス乗り場10番より、
 ○蒲小沢渡線(系統番号 71,74,78)
 労災病院下車
 ○労災・篠ヶ瀬線(系統番号 85)
 労災病院下車
 ○笠井線(系統番号 70)子安下車、
 徒歩10分
 ○磐田線(系統番号 80)子安下車、
 徒歩10分
- 東名高速道路をご利用される場合
 浜松ICより20分
- タクシーをご利用される場合
 JR浜松駅より約15分

独立行政法人 労働者健康福祉機構

浜松労災病院

地域医療連携室

〒430-8525 浜松市東区将監町25
 TEL 053(411)0366 FAX 053(411)0315
 受付時間 8:15~18:00